

挨拶

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました M といいます。

今日は、日本共産党尾西後援会、第 12 回れんげの会総会を開催しましたところ、皆様方多数のご参加をいただき、心から感謝申し上げます。本日は、文化行事として、(先ほど紹介がありました) 落語家の「三遊亭ごんぼ」さんをお招きしております。皆様には、日頃の殺伐とした世界情勢への緊張を一時でも解いていただき、改めて無心の心で世界情勢を思い、加えて切迫した参院選にもしっかりと対応して頂きたいと思います。

いま、世界情勢はロシアのウクライナ侵略が収まらず、また、イスラエルはガザ攻撃でパレスチナをジェノサイドの如く破壊し尽くそうとしています。国連総会では 12 日、ガザ停戦決議を採択し、加盟国の 8 割が賛成しています。しかしイスラエルは 13 日、イランへの核施設などへの空爆を行いました。イランは、ミサイルで報復を行い、イスラエルと交戦状態になっています。イスラエルを支援するトランプ政権のアメリカでは、アメリカ第一主義による高関税戦略で世界中を大混乱の中に落とし込んでいます。さらにはハーバード大学への権力介入にみられるように、学問への政治権力の介入が猖獗をきわめております。こうした権力による学問への攻撃は、日本では、今国会で、日本学術会議解体法案が強行可決された事でもよく分かります。いずれも反共が荒れ狂った戦前回帰を思わせるものばかりです。しかし、日本共産党は、戦前から一貫して、反戦平和、基本的人権の尊重、人民主権、の日本国憲法に象徴されるような、民主的な社会を目指して闘ってきました。世界は今、こうした反動とそれらに対抗する勢力のせめぎ合いの大激動の最中にあり、新しい国際的連帯が求められています。

こうした中で、7 月には参議院選挙が行われます。私たちは、こうした世界情勢の下で、昨年愛知 10 区野党共闘で国会に駆け上がり、憲法審査会など、国会で大活躍されている藤原のりまささんを、今日お迎えすることができました。藤原さんには国政の現状についてお話しして頂く予定です。また、渡辺さんは、一宮市会議員として二年目になりますが、一宮市議会では、毎週発行している市政レポートの「シャットル」でお知らせしているように、我々の日常の問題点をすくい上げ、市議会で市政を問い合わせています。暮らしを直撃する物価高騰の中で、水道料金や下水道使用料、保育園給食費の値上げの問題、シン学校プロジェクトの名の下での、子どもの成長を無視した、学校給食自校方式の切り捨て、さらには、受益者負担の押しつけである公共施設等の使用料の値上げや国民健康保険税の引き上げなど、私たちの暮らしや生活、子育て支援などに逆行する、効率一辺倒の新自由主義的な一宮市政に対して、私たちの暮らしや生活、命を守る闘いの旗手として、日夜奮闘を続けられています。渡辺さんの議会報告なども、私たちの身近な問題がどのように市行政で取り扱われているのかに注目して、聞いていただきたいと思います。

そして、今日のメインは、なんといっても 7 月 22 日に行われる参議院選挙です。この総会は、参院選を直前に控えたわれわれの総決起集会として位置づけられます。比例は日本共産党、そして愛知選挙区では「すやま初美」さんをよろしくお願ひします。

今度こそ、すやまさんを国会に押し上げようではありませんか。すやまさんは、…

「生きる自由をすべての人へ」「消費税 5 % に緊急減税し、廃止へ」。そして、「本気でジェンダー平等」をと訴えています。戦争で最も虐げられるのは、いつも女性、子ども、老人などの弱者です。今、自民党は、憲法を変えてでも戦争の準備をしようとしています。アメリカからは、「防衛費を GDP 比 3 % に」と要求されています。トランプの軍拡要求が日本を壊そうとしています。アメリカと日本の関係は、このままで本当によいのでしょうか? 今度の参院選では、日米軍事同盟をやめ、日米友好条約を結ぶ、「対等・平等の日米新時代をひらく」日本共産党にこそ政治を変えるしっかりした綱領があるではありませんか。今度の参院選は、金権にまみれた腐敗した自民党政権を倒し、綱領に基づいた新しい日本を創り出す、絶好の歴史的な闘いになります。我々は、一致、団結・連帯してこの参院選の闘いに臨もうではありませんか。(第二部でご挨拶を予定している) 藤原さん、渡辺さんの話には、最後までご静聴のほど、よろしくお願ひ申し上げて、私の挨拶といたします。ありがとうございました。

2025/06/16 作成

「れんげの会」第12回・総会



2025/06/15

「文化行事」落語・三遊亭ごんばさん



団結して「ガンバロー」

